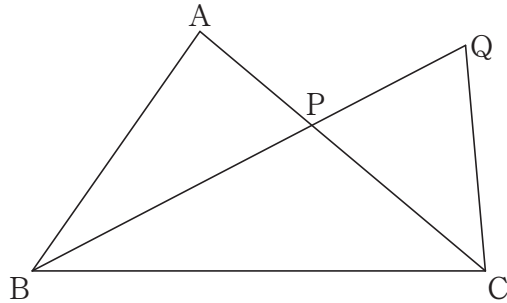


- 8 図2のような△ABCがあり、∠ABCの二等分線と辺ACの交点をPとする。
また、線分BPの延長上にあり、CP=CQとなる点Qをとる。
このとき、BA:BC=AP:CPであることを証明しなさい。

(改題・一部省略)

図2

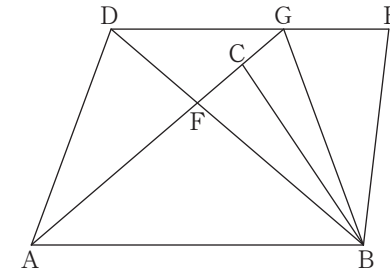


証明

△ABP と △CBQ において、
線分 BQ は ∠ABC の二等分線なので、
∠ABP = ∠CBQ ……①
対頂角は等しいので、∠APB = ∠CQB ……②
CP = CQ より、△CPQ は二等辺三角形なので、
∠QPC = ∠PQC ……③
②、③より、∠APB = ∠PQC すなわち、
∠APB = ∠CQB ……④
①、④より、2組の角がそれぞれ等しいので
△ABP ≅ △CBQ
相似な図形の対応する辺の比は等しいので、
BA : BC = AP : CQ = AP : CP
である。

- 9 下の図において、△DBE は △ABC を、点 B を回転の中心として、DE // AB となるように回転移動したものである。

線分 AC と線分 BD の交点を F、線分 AC の延長と線分 DE の交点を G とするとき、△FDA ≅ △FGB であることを証明しなさい。(改題・一部省略)



証明

△FDA と △FGB において、
対頂角は等しいので、∠AFD = ∠BFG ……①
△DBE は △ABC を回転移動したものであるため、
∠CAB = ∠EDB すなわち、∠FAB = ∠FDG ……②
DE // AB より、錯角は等しいので、
∠FAB = ∠FDG ……③
∠FBA = ∠FDG ……④
②、③より、∠FDG = ∠FGD であり、△FGD は二等辺三角形
なので、FD = FG ……⑤
②、④より、∠FAB = ∠FBA であり、△FAB は二等辺三角形
なので、FA = FB ……⑥
①、⑤、⑥より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので
△FDA ≅ △FGB
である。

山口県の証明問題 [令和2年度]

___月___日 得点 ___/7
氏名 _____

- 8 右の図のように、正方形 ABCD と正三角形 BCE があり、線分 CE と線分 BD の交点を F、線分 BA の延長と線分 CE の延長の交点を G、線分 AD と線分 CG の交点を H とする。このとき、次の説明により $\angle AEG = 45^\circ$ であることがわかる。

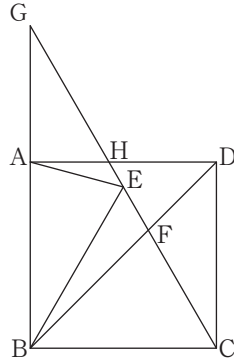
説明

正方形や正三角形の性質より、 $\triangle BCG$ で、 $\angle CBG = 90^\circ$ 、 $\angle BCG = 60^\circ$ だから $\angle BGC = 30^\circ$ である。また、 $\triangle BAE$ は $BA = BE$ の二等辺三角形であり、 $\angle ABE = 30^\circ$ だから、 $\angle BAE = 75^\circ$ である。

$\triangle AEG$ において、三角形の a は、それととなり合わない 2 つの b の和に等しいので、 $\triangle AEG$ で、

$$30^\circ + \angle AEG = 75^\circ$$

となる。よって、 $\angle AEG = 45^\circ$ である。



次の(1)~(3)に答えなさい。

- (1) 説明の下線部が表す性質は、どんな三角形においても成り立つ。
 a 、 b にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次のア~エから 1 つ 選び、記号で答えなさい。
 ア a : 内角 b : 内角 イ a : 外角 b : 外角
 ウ a : 内角 b : 外角 エ a : 外角 b : 内角
- (2) $\triangle AEG \cong \triangle FDC$ を証明しなさい。その際、説明の中にかかかれていることを使ってよい。
- (3) $BC = 2 \text{ cm}$ のとき、線分 FH の長さを求めなさい。

(1)	エ
(2)	<p>証明</p> <p>$\triangle AEG$ と $\triangle FDC$ において、説明より $\angle AEG = 45^\circ$ であり、 $\angle FDC = 90^\circ \times \frac{1}{2} = 45^\circ$ なので、$\angle AEG = \angle FDC$ ……① $BG \parallel CD$ より、錯角は等しいので、$\angle AGE = \angle FCD$ ……② $\angle ABE = \angle BGC = 30^\circ$ より、$\triangle BEG$ は二等辺三角形なので、 $GE = BE$ ……③ 正方形 ABCD と正三角形 BCE の辺の長さは等しいので、 $CD = BE$ ……④ ③、④より、$GE = CD$ ……⑤ ①、②、⑤より、1 組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle AEG \cong \triangle FDC$</p>
(3)	$\frac{6-2\sqrt{3}}{3}$ cm